

## 伊勢型紙資料館 事業計画書等の要旨【公開用】

申請者名		伊勢型紙技術保存会 会長 内田勲						
基本的な方針		国指定の重要無形文化財「伊勢型紙」の歴史及び彫刻技術を紹介する伊勢型紙資料館を、広く市民に周知し、高度な伝統工芸技術の保存に対する理解及び関心を得る。そのため、彫刻技術の伝承、復刻作品の製作・展示や幅広い年代に向けて展示案内を行うことで、魅力ある施設になるような運営を進める。また、江戸末期の古い町屋風の建造物である資料館の保全に努める。						
サービスの向上		来館者のニーズに合わせ、質疑応答の機会を大切にする。必要に応じて会員による来館者への案内や展示説明の機会も設ける。 また、アンケートや窓口での聞き取りを通し、来館者からの意見・要望を把握し、満足度を高める運営努力を行う。 パンフレット等資料の配布、市ホームページとの連携により資料館情報の周知を図る。 伊勢型紙に関心を持って資料館を訪れる外国人観光客に対して、伊勢型紙発祥の地について、よく理解していただけるよう、展示や説明の工夫を行う。						
施設の管理運営経費		限られた予算と人員で資料館の維持管理をしていけるよう、委託費（シルバー人材センター）や修繕費を有効に活用していく。また、物品購入時はよく吟味し、必要最低限なものか、しっかりと活用できる見込みのあるものしか購入しない。無駄を省き、出費を抑える。						
施設の安定した管理運営		現場管理者及び会員の交代体制で業務に当たる。 関係各所と連携を密にし、事故防止、防犯・防災対策に努めるとともに、開館前、閉館後に不審物や設備、展示物等の点検・確認を行う。簡易な維持修繕については実施する。 個人情報の保護等は鈴鹿市の規則に準じ、適正な管理に努める。						
収支計画書 (千円)	年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	期間合計	
	収入合計	1,552	1,552	1,552	1,552	1,552	7,760	
	内訳	指定管理料	1,552	1,552	1,552	1,552	1,552	7,760
		事業収入	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0
支出合計	1,552	1,552	1,552	1,552	1,552	7,760		

※ A 4 版 2 枚以内としてください。